

- 東京都では、障害者を含むすべての方が、**最大限自分が持つ力を活かすことができる働き方**の実現を目指し、**ニューロダイバーシティの推進**に向けた取組を実施。
- ※ **ニューロダイバーシティとは**、「脳や神経、それに由来する個人レベルでの様々な特性の違いを多様性と捉えて相互に尊重し、それらの違いを社会の中で活かしていこう」という考え方。
- 都内企業へのニューロダイバーシティ推進のため、「ニューロダイバーシティ推進に係るトライアル雇用」を実施。実践企業に対して助成金を支給。

トライアル雇用に参加した企業の実習例

アポロ株式会社

自社で実施している AI・データサイエンス業務より、研修資料の作成及び R&D 向け調査を実施

実際に自社で実施している業務の中から、クライアントワークではない業務を抽出。実習内容は 2 つ用意し、実習生はどちらをやりたいか選択

【実習内容 1：研修資料の作成】

DX 人材育成サービスの研修資料や自社の新人向けの研修資料の作成を依頼。実習生は、データを収集し、研修用に加工する、データのチェックを行うプログラムを Python で設計する、パワーポイントで説明資料を作成する、など研修資料作成に必要な一連の作業を実施。研修資料化する案件のテーマは複数提示し、実習生が興味のある案件を選択

【実習内容 2：R&D 向け調査】

自社で実施している R&D テーマの調査を依頼。調査する R&D テーマは複数提示し、実習生が興味のあるテーマを選択。
R&D テーマの例）レコメンドエンジンにて、顧客一人ひとりが、より興味を持つようなコンテンツを表示するためには、どのようなデータを用いればよいかの検証とデータベースの作成。

東横システム株式会社

Google Apps Script (GAS) を利用して、業務を効率化する自動化スクリプトを作成

Google Apps Script (GAS) を利用して、業務効率化のための自動化スクリプト作成を依頼。実習生に実施いただく業務は、社内で手間がかかる業務・自動化したい業務を募集し、集まった業務の中から GAS で自動化ツールを実装できる業務を選択。

【実習の進め方】

- 実習生の方が GAS を使うのが初めてだったため、2 部構成とした
- 第 1 部：GAS の使い方に慣れることを目的として、比較的難易度の低い自動化ツールの作成を実施。
 - 第 2 部：連携するシステムの API 調査等も織り交ぜた中程度の難易度の自動化ツールの作成を実施

【実習生が作成したツールの例】

- ・プロジェクト管理ツールを一年間以上利用していない社員をスプレッドシートに抽出し、Google Chat に送信するツール
- ・プロジェクト管理ツールへのログインが一定期間以上ない社員を一覧で表示するツール等の作成を実施。

東京都



分身ロボットを活用した

新たな働き方の 支援事業

外出困難な重度障害のある方等が都庁展望室などで分身ロボットを
使った案内業務を通じて新しい働き方を実践します！

AIでは
ありません！
ロボットを使って
自宅から
働いています！



自分に合った働き方で、都庁展望室等で皆さまをご案内！
ぜひ、話しかけてみて下さい！



分身ロボットを活用した

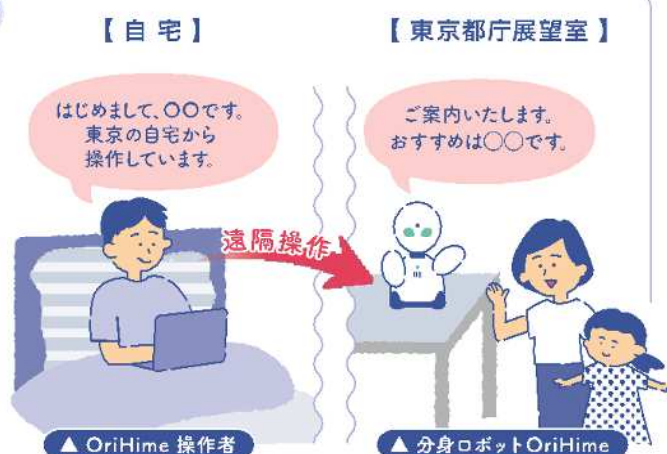
新たな働き方の支援事業とは？

東京都では都庁展望室等において、スマートフォンやパソコン等を通じ遠隔で操作できる分身ロボット「OriHime」により、外出困難な重度障害のある方等が自宅から案内業務を行います。

この案内業務の実践を通じて、障害のある方を含むすべての方が、最大限自分が持つ力を活かすことができる働き方の実現を目指します。

分身ロボットOriHimeとは？

この場に参加できない、遠く離れた仲間に簡単に“来てもらう”事ができる分身ロボット、それが「OriHime」です。「職場に置いて、家や遠い場所にいる社員に参加してもらえる」など、まるで本当にそこにその人がいるような経験を体験できます。



私たちに合ったそれぞれの働き方を。

外出困難でもそれぞれに合った働き方を、分身ロボットで支援します。

✓ 簡単操作



お使いのPCやスマートフォンなどから、だれでも簡単に操作する事ができます。練習は必要なく、子どもからご高齢の方まで、多くの人に使いやすいように設計されています。

✓ 豊かな感情表現



分身ロボットを操作する人は、首や腕を自由に動かして周囲の人と話し、一緒に外出したり働いたりするうちに、遠隔操作なのに本当にそこにいるような感覚、経験を得る事ができます。

✓ そこに居る感覚



様々な表情に感じられる能面をモチーフとし、操作者の顔は見えていないのに、会話をしていると本当に分身ロボットを通してその人が“居る”ように感じる事ができるようにデザインされています。

お問い合わせ先 「分身ロボットを活用した新たな働き方の支援事業」事務局

メールアドレス tokyo.recruit@orylab.com

当事業について TOKYOはたらくネット

HP <https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/shogai/event/orihime/index.html>



東京都

リサイクル適性[Ⓐ]

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

登録番号(7)69